

心の通った温かい街づくりの推進
～みんなが愛せる足立区をクリエイト～

足立区議会議員



勇気と情熱そして実行

しかはま昭

令和5年第3回定例会本会議にて一般質問！

足立区議会自由民主党の一員として第3定本会議の9月22日に一般質問をしました。足立区を、より安心して暮らせる安全な街にするため、日頃皆様から頂きました「お声」と「自分の思い・考え」を執行機関に提案、質問しました。



I こどもまんなか社会の実現に向けて



1) 学校・家庭・地域の連携について



子ども達を健やかに育てるためには、PTAをはじめ、学校・家庭・地域が連携・協働・協創して一丸となって育てる事が重要です。

(1)「開かれた学校づくり協議会」が設置されているが、4年間のブランクで関係が希薄化していることを危惧する。現状を区教委はどう把握しているのか伺う。

【行政答弁】協議会の開催回数も減り、活動再開への不安な声や、形骸化しているとの意見もいただき、様々な課題が見えてきていると認識しています。

(2)現在、教員不足の問題等、教職員だけでは学校運営が厳しい状況だと感じている。子ども達のためにも、全校に「学校運営協議会」を設置し、「コミュニティー・スクール」を早急に推進拡大すべきと思うがどうか？

【行政答弁】それぞれの組織に負担を強いること無く、理解と協力が不可欠です。理解を深めた上で、設置機運の高まったところから、積極的に支援を行い、少しでも早く拡大するよう促進していきます。

2) 不登校支援について



(1)足立区の不登校児童生徒数は、令和4年度は小学生が371人、中学生が791人合計1,162人となり、前年比166人と大幅に増加した。国のKOKOLOプランでは、「不登校によりアクセスできない子ども達をゼロにすることを目指しているが、足立区では、どのような支援を行っているのか伺う。

【行政答弁】登校サポーターによるお迎え支援、学習に取り組める子は、チャレンジ学級やあすテップでの学習支援、NPO法人による居場所を兼ねた学習支援など、不登校でも学びにアクセス出来るよう取り組んでいます。

今後は、外出困難なお子さんへICTを活用したオンラインによる支援の充実に取り組んでまいります。

3) 学童保育について

待機児童数が、今年の5月に263人となっています。このような状況の中、区では昨年に引き続き今年も「学童保育室整備計画」見直しました。来年9月末時点で待機児ゼロを目指すとしている。そこで伺います。

(1)小学校内の学童保育室は、全体の3割に留まっていますが、校内の空き教室を活用し、増設すべきと思うが、どうか？

【行政答弁】民間の物件の確保が難しい現状を踏まえ、需要が多く見込まれる地域については、個別に教育委員会と検討してまいります。

(2)現在、区には民設学童保育室を除くと89箇所ありますが、特別延長保育を実施している施設の人気の高いと聞いています。このような需要を受け入れるためにも区の支援が必要かと思うがどうか？

<裏面に続く>

【行政答弁】 区では延長保育の需要の多い住区センターの学童保育室に対し、実施に向けた働きかけを行っておりますが、人材確保などの理由で実施できておりません。今後は、補助金の支給要件を緩和し、勤務条件の整理を進め、改善に努めます。

Ⅱ 鹿浜・江北地域の区有地活用と交通不便地域の解消に向けて

1) 旧鹿浜西小学校用地の活用について



鹿西小と北鹿小の統合が決まり、私はこの2校の跡地をどのように活用したら、地域の皆さんに喜ばれるかを、ずっと考えておりました。鹿浜西北部には長い間、スーパーマーケットなどが無く、買い物が不便でした。そこで、直接区内の大手スパーにお話しに伺い、「新設可能です」とありがたい回答をいただきました。次に、両校の学区域の10町会・自治会長の懇談会を開催していただき、意見を伺いました。反対意見は無くありがたいとお話しました。

それから、区の担当者や地元区議にも伝えて、令和2年12月に鹿浜町自連として要望書を区長に提出しました。その後、鹿西小跡地に大型商業施設誘致、北鹿小跡地に文教施設誘致が決定しました。そこで伺います。

(1) 旧鹿西小北側道路は、幅員9.5mの区道ですが、一方通行の制限があり、退店経路が心配される。区はどのように考えているのか伺う。

【行政答弁】 一方通行道路につきましては、関係所管課と協議を進めており、一方通行解除の必要性について警視庁と協議し、地域の皆さんへ配慮した対応に努めてまいります。

(2) 南側区道には、私立幼稚園やシルバーピア鹿浜及び住宅地がある。安全性を考えると、道路を拡幅して十分な歩道空間を整備する必要があると思うがどうか？

【行政答弁】 周辺の道路状況等を踏まえますと、拡幅の必要性が高いと判断しております。防災倉庫や公園にかかる部分があるので、どう処理するか具体的な協議に入っております。安全対策に努めてまいります。

(3) 仮に経営が赤字になり、途中撤退など絶対にあってはなりません。資本投下を回収し、利益を出していくことは並大抵のことでは無いと考えるが、区の見解を伺います。

【行政答弁】 地域の実情を十分踏まえ、周辺道路の整備や鹿浜いきいき館との連携した取り組みなど、地域の皆さんと事業者双方にメリットがある具体的な方策を検討してまいります。

2) 上沼田東公園創出用地について



令和6年9月に上沼田東公園が完成する。その東側に位置する創出用地についてですが、私は兼々「夢のある施設が必要である」と申し上げてきました。荒川区の「ゆいの森あらかわ」のような区内はもちろん区外からも人が訪れ、憩えるような「足立区のシンボリックな施設」を整備していただきたい。尾久橋通りに面し、西新井大師西駅から僅か100mという極めてポテンシャルの高い土地である。50年・100年先の江北エリアの発展を思い描き、質問します。

(1) この創出用地の活用方法として、区が建設、管理するよう主体となる可能性はあるのか伺います。

【行政答弁】 現在のところ公共施設を設ける予定が無いので、区が主体となって建設及び管理する可能性はありません。事業者ヒアリングを参考に公募をしていく予定です。

(2) 区外からも人を呼べるような目的地となり得る魅力ある施設整備を目指すべきと考えるが、区の見解は？

【行政答弁】 この創出用地の活用については、健康増進に寄与し、スポーツや健康の分野で注目を集められ、区外からも人を呼べるような目的地となり得る魅力ある施設となるよう、事業者募集に向け準備を進めてまいります。

この他にも、北鹿小跡地利用の進捗状況・デマンド交通実証実験について質問しました。

＜詳細については、足立区議会ホームページをご覧くださいようお願い申し上げます＞

昭和31年12月21日生まれ（66歳） 区立旧鹿浜小学校・旧鹿浜中学校・都立江北高校・法政大学経営学部卒
令和元年・2年度 第73代 足立区議会議員

日本防災士会足立区支部顧問・足立区保護司・鹿浜押部町会副会長

東京都青少年健全育成功労賞表彰・ファイナンシャルプランナー・宅地建物取引士・防災士

＜現在＞ 所属 区民委員会委員長 総合交通対策調査特別委員会委員

役職 自民党総務会長 足立区議会拉致問題議員連盟会長 オウム真理教対策議員連盟副会長

しかはま昭後援会事務所

〒123-0864 東京都足立区鹿浜6-26-12 TEL/FAX 03-3857-5050

E-mail : sika3350@jcom.zaq.ne.jp URL : <http://a-shikahama.jp> (鹿浜昭 検索)